

はじめに

これまで愛知県は「モノづくり」を基幹産業として、日本経済の牽引役を担ってきました。愛知県の基幹産業や生活を支える社会資本、とりわけその基盤となる「みち」はこれまで重要な役割を果たしてきました。

一方、時代は、本格的な人口減少・高齢化社会の到来、社会経済の急速なグローバル化の進展、環境問題の拡大など大きな転換期を迎えています。また、世界的な金融・経済危機に伴う地域経済の悪化から、財政はかつてない危機的な状況に陥っています。

混迷する社会・経済情勢や厳しい県財

政状況においては、徹底的なコスト縮減や事業のさらなる選択と集中により、効率的かつ効果的な予算の運用を図り、愛知県が直面すべき課題を早急に解消するとともに、拡大する既存ストックの長寿命化に向けた戦略的な維持管理の仕組みを整える必要があります。

また、多様な特性を有する愛知県は、地域によってニーズや課題が異なり、各地域が直面している課題を的確に捉え、県民のみなさんにわかりやすい目標を設定し、その目標の達成に向けて早期に効果が発現する取組みを選択することも重要です。

愛知県が引続き、日本経済の牽引役を担うためには、直面する課題の解消のみならず、他の社会資本整備と連携を図りつつ、事業評価や計画の見直しを適宜行い、将来を見据えながら「新たな愛知」を創造していくことが重要であります。

そのため、3つの決意のもと、平成20年を初年度とする今後5年間の道路整備方針を策定しました。

Aichi's Road Development Policy

Aichi Prefecture has led the Japanese economy with the region's key industry of quality manufacturing. Roads, as a fundamental element of the social infrastructure, have played an important role in supporting industries and people's lives.

Currently, society is facing a major turning point with a rapidly decreasing population combined with an aging one, swift globalization of the social economy, and growing environmental concerns. Furthermore, local finances are in a critical situation caused by a deteriorating local economy that came along with the global financial and economic crisis. Under such circumstances, the Aichi Prefectural Government established a five-year road maintenance policy based on three resolutions. Fiscal year 2008 marked the inauguration of the policy.

3つの決意 Three Resolutions

1 事業の選択と集中により、直面する課題を解消 Overcoming challenges by focusing on select projects

- 厳しい財政状況の中、緊急的に解消すべき課題を解消
- 地域毎に直面する課題を早急に解消する事業に集中

2 効果を実感できる成果優先主義を徹底 Prioritizing effective results

- 地域ごとの課題やニーズに応じた目標をわかりやすく設定
- 目標達成に向け、より効果的な取組みを選択

3 次世代に輝き続ける「新たな愛知」のため Creating a new Aichi for the generations to come

- 事業評価や計画の見直しなどPDCAサイクルの好循環化
- 直面する課題の解消のみならず、次代を担う仕組みを創造

愛知県の現状



県の政策

「あいちビジョン2020」

めざすべき 愛知の姿

- リニアを生かし、世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏
- 日本の成長をリードする産業の革新・創造拠点
- 安心安全で、誰もが夢と希望を抱き、活躍する社会

道路整備方針について

今後の道路整備にあたっては、社会資本整備重点計画（H20～H24）や新たな中期計画（H20～H24）との整合を図りつつ、「スムーズ」「安全」「暮らし」「ものづくり」「快適」「防災」「協働」を7つの基本方針に、計画的・効率的な計画推進に取り組むなど、利用者のニーズに対応した道路整備を進めることとしています。

Regarding the Road Improvement Policy

We move forward in a planned and efficient manner that is based on seven policies of road improvement: "Smoothness," "Safety," "Living," "Manufacturing," "Comfort," "Disaster prevention," and "Cooperation." These policies are aimed to the needs of users. Additionally, we consider road improvements in accordance with the "Social Capital Improvement Emphasis Plan (2008-2012)" and "Medium Term Plan (2008-2012)."

みちづくりの課題 Tasks for Road Improvement

- | | |
|--|---|
| 1 渋滞を減らす
Decrease traffic congestion | 6 交通事故を減らす
Decrease traffic accidents |
| 2 ものづくりを支える
Support for manufacturing | 7 誰もが快適な道路空間を
Comfortable roads and surroundings |
| 3 暮らしを支える
Support for lifestyle | 8 人と地球にやさしく
Earth and people friendly |
| 4 災害に備える
Disaster prevention | 9 大事に使う
Using carefully |
| 5 上手に使う
Effective utilization | 10 いつでもベストな状態に
Keeping roads in the best condition |

A スムース 渋滞のないスムーズな移動空間の提供

Offering smooth traffic space without congestion

- 1 渋滞を減らす 5 上手に使う
8 人と地球にやさしく

B 安全 安心・安全な道路サービスの提供

Offering safe road services

- 6 交通事故を減らす

C 暮らし 暮らしをささえる道路サービスの提供

Offering road services that support everyday life

- 3 暮らしを支える

D ものづくり 「ものづくり」を支える広域ネットワークの形成

Creating a wide area network to support manufacturing

- 2 ものづくりを支える

基本方針

Basic Policies



愛知県の現状

Present situation of Aichi

県民の皆さまの意見 県の政策 市町村（首長）の意見

みちづくりの課題

Tasks for Road Improvement

E 快適 人にやさしい快適な道路サービスの提供

Offering comfortable and pleasant road services

- 7 誰もが快適な道路空間を

F 防災 災害に備え、生活を守る道路サービスの提供

Offering road services that give support for disaster prevention

- 4 災害に備える

G 協働 みんなで育む健やかな道路

Developing healthy and eco-friendly roads with community

- 9 大事に使う 10 いつでもベストな状態に

